

# サケの稚魚を放流しました

～第10回千波湖環境学習会～

当協会では、水戸市との協働事業として、体験しながら環境問題について考える「千波湖環境学習会」を開催しています。令和3年度最終回の第10回は、「卵からふ化したサケの稚魚を桜川に放流しよう」をテーマに2月6日に開催しました。天候にも恵まれ、コロナ禍ではありましたが59名の参加者がサケの稚魚放流を体験しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、感染症対策を十分に実施した上で、開会式は行わないなど、全体的に自粛した内容での開催でした。

当日は、千波湖好文カフェ前の親水デッキで受付後、予め用意されたサケの稚魚の入った容器を一人一つずつ受け取り、放流場所へ順に出発しました。令和3年は、サケの来遊数が全国的に例年



サケの稚魚を受け取ります



サケの稚魚を放流

より少なく、桜川ではサケの遡上が確認されませんでした。そんな中、今回放流する稚魚は、鬼怒小貝漁業協同組合様よりご提供いただいた卵をふ化させ飼育した稚魚たちです。

放流場所である桜川に通じる水路に到着すると、参加者たちは、大切そうに稚魚を放流し、元気に泳ぎ出した稚魚たちを見守っていました。4年後元気に戻ってきてくれるといいですね。

令和3年度の学習会は、全10回で延べ約1,165名の参加者があり、多くの皆様に千波湖周辺の環境について、体験を通じて楽しく学習していただくことができました。学習会の運営のため、講師としてご協力、飲み物等の提供やスタッフとしてご協力を頂きました事業所等の皆様には、心より感謝申し上げます。

令和3年度の学習会は、全10回で延べ約1,165名の参加者があり、多くの皆様に千波湖周辺の環境について、体験を通じて楽しく学習していただくことができました。学習会の運営のため、講師としてご協力、飲み物等の提供やスタッフとしてご協力を頂きました事業所等の皆様には、心より感謝申し上げます。



密を避けてご挨拶

令和3年度の学習会は、全10回で延べ約1,165名の参加者があり、多くの皆様に千波湖周辺の環境について、体験を通じて楽しく学習していただくことができました。学習会の運営のため、講師としてご協力、飲み物等の提供やスタッフとしてご協力を頂きました事業所等の皆様には、心より感謝申し上げます。



泳ぎ出した稚魚たち

<令和3年度 千波湖環境学習会 協賛事業所> (順不同・敬称略)

- ・東部燃焼(株) ・いばらく乳業(株) ・水戸ヤクルト販売(株)(飲料)
- ・株式会社ユーゴー(クリーニング専科) ・千波湖水質浄化推進協会
- ・(株)フットボールクラブ 水戸ホーリーホック ・一般財団法人水戸市公園協会
- ・学校法人緑丘学園水戸英宏小中学校 ・(有)沼田クリーンサービス
- ・逆川こどもエコクラブ ・丸太建設(株) ・(株)ジーエスケー茨城
- ・根崎解体工事(株)水戸リサイクルセンター ・(有)リビング館ホンダ
- ・(株)エコソー技術研究所 ・(株)いばらき環境改善 ・(有)アルファサービス
- ・econet いばらき ・サラヤ(株) ・茨城生物の会 ・公益財団法人日本財団
- ・いばらきコープ生活協同組合 ・大東建託(株) ・あんこうばわあ(株)